## 7月4日(日)

法人化&10周年記念



昨年、コロナ禍で開催でき なかった10周年と法人化記 念パーティをスタッフと一緒 に行います。

#### 7月9日(金)

オーソモレキュラーセミナー



オーソモレキュラーの学び を半年間進めます。より全身 の健康を創造し続けます。

## 7月11日(日)

X-ガイドセミナー



インプラント埋入の最新 ガイド機器「X-GUIDE」 を学び尽くします!

### 7月18日(日)

コンサルデントクラブ



全国の歯科医院経営者とリ モートでセミナー参加いたし ます。良質な情報は、貴重な 財産です!

# CLOVER NEV





新人スタッフセミナー4名参加中



人事評価などの院長業務ををワーケーション風に



今回の笑顔会議では、脳内ホルモンの学びをしました。セロトニン、オキシトシン、ドーパ ミンを効果的に脳内に放出することにより、「幸せ」を感じることができるという内容です。 「3つの幸福」樺沢紫苑著を題材として、我々の仕事と生活にフォーカスしました。お口の健 康を守ることにより、セロトニンの分泌を促進させ、家族や友人との食事によりオキシトシン が分泌され、しいては、お口の悩みがなく、目指す夢に力を注げる状態によりドーパミンも分 泌させられる。そんな役割が歯科医院にはあるのだということをあらためて認識しました。

~よつはからのお知らせ~ クローバースタッフは全員無事にコロナワクチンを優 先接種することができました。通院中の方にとっても安心を与えられるのではないでしょ うか。引き続き、院内の感染対策を徹底しながら、患者さんの健康を守るべく、診療を継



## 『山岡院長のにこにこコラム』だよ!

当院のワクチン接種は、4日間に分けて、5人くらいづつで行 われました。2回目の接種の翌日には、発熱などの副反応が起こ りやすいことが報告されていましたので、仕事を休む可能性が あることを前提に、スタッフ間での申し送りを含む「お互いの サポート」について学ぶ機会となりました。

急な病気などで、仕事を休まざるを得ない場合、企業や会社 側に大きな負担あるいは顧客に迷惑がかかることが予想されま す。当院では、育児中のスタッフも多いため、自分の体調管理 だけでは十分ではなく、家族、特に子供の体調不良で休まざる を得ない場合も少なくはありません。そこで、大切なのは、普 段からお互いにサポートできる体制になっているかどうかで す。

実際には、ワクチン接種の翌日に休みとなったスタッフは4名 でした。それにより、学びのポイントが3つありました。1つ 目が、仕組み作りです。翌日、自分が急な休みになってもいい ように、事前対応をしておくことが必要です。それを、仕組み に落とし込んでだれでもできるようにしておきます。例えば「連 絡メモ」があって、それを翌日の朝礼で読み上げるようにして います。2つ目が、業務を属人化しないということです。専門職 種もある医療機関では、すべては難しいですが、それでも共通 する業務においては、誰でもできるような体制作りが必須で す。最後に3つ目は、休みに対する考え方のすり合わせです。ス タッフそれぞれが独自の休みの捉え方では、意見の相違が生ま れ、お互いにサポートするのが難しくなります。そこで、医院 としての休みに対する捉え方を統一してくことが必要です。さら には、体調管理についても、同様に認識を統一しておくことが 必要です。結果として、スタッフみんなの健康寿命へつながるの であれば、「休む」ということを題材に、企業が多くの取り組 みをすることは、非常に有意義なものと考えることができるの ではないでしょうか。

# CLOVER DENTAL クローバーデンタル

秋田市千秋矢留町6-30 トーカンマンション千秋鷹匠橋 1

お問い合わせ&ご予約

# **6**018-836-0

クローバーデンタルホームページ www.cloverdental.com インプラントホームページ www.cloverdentalimplant.com キッズホームページ https://kids.cloverdental.com/

# 歯の豆知識

「X-ガイドシステム」



10年前は、歯科医院にCT撮 影装置があることは稀でした。 それが、CTの普及とともに、イ ンプラント治療がより安全に行 うことができるようになりまし た。CT画像を元に、「ガイド」 と呼ばれるマウスピース型のド リルサポート装置も開発され、 経験の少ない歯科医師でもイン プラント治療に取り組めるよう になりました。

そしてついに、画期的なイン プラント手術サポート機器が誕 生しました。それが「X-ガイ ド」です。あらかじめ撮影した CTデータと実際の手術時のドリ リング操作をマッチングさせ て、リアルタイムに手術支援を してくれる装置です。言葉では 伝わりにくいのですが、医科で 言うなれば、内視鏡手術ができ るようになったくらい画期的な 装置です。

もう少し、活用法を煮詰めた 上で、導入を考えたいと思いま す。それにしても素晴らしい!



